

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の団体の運営基盤の強化に向けて、おおいたボランティア・NPOセンターでの窓口相談(372件)や運営アドバイザーの派遣(72回)、出張個別相談会(7ヶ所)や基礎講座・セミナーを開催(7回)した結果、NPOの育成、活動支援ができた。 ・災害ボランティアセンターの迅速な設置・円滑な運営に向けて、運営の核となるリーダー(延べ101人)や運営スタッフ(延べ1,117人)の研修を行った結果、人材育成と機能強化を図ることができた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOと行政、企業、学校等の多様な主体との協働の推進に向けて、地域課題の解決に継続的に取り組む協働モデルづくりを行った結果、協働の手法やノウハウを広めることができた。 ・NPO向けの県・市町村の事業や企業等の助成金プログラムを紹介する合同説明会を行った結果、NPOと企業等との相互理解が進み、マッチングの機会を提供することができた。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を担うNPO活動に対する理解を深めるため、協働モデルとなる成功事例の創出を行った結果、課題解決に取り組む県民の参加が促進された。 ・おおいたNPO情報バンク「おんぼ」でNPOに関する情報発信を積極的に行った結果、県民のNPO活動に対する理解・参加が進んだ。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	クリーンロード支援事業	18,000	A	継続・見直し	231
①②	災害ボランティアセンター運営支援事業	10,665	A	継続・見直し	116
②③	地域を担うNPO協働モデル創出事業	36,094	A	継続・見直し	117

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県協働推進会議(H30.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおいたNPO情報バンク「おんぼ」のNPO情報を充実し、企業にもNPOの情報が届くような発信の仕方を検討するとともに、NPOに対するニーズを行政で取りまとめてマッチングさせる必要がある。 ・全てのNPOを応援するのではなく、企業や行政では対応できない社会的なニーズに応えるNPOに対して、公的資金を振り分けることが必要である。 	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOと行政や企業等の多様な主体が協働して地域課題を継続的に解決する協働モデルづくりに引き続き取り組むとともに、成果発表会や協働モデル事例集の発行等を通して協働の手法やノウハウを県内各地に広めていく。 ・NPOフェスタ等のイベント開催を通じて情報発信の強化・県民理解の促進を図る。 ・おおいたNPO情報バンク「おんぼ」に企業等とNPOとのニーズを把握できるマッチングサイトを開設・運用したり、協働コーディネーターを配置することにより、NPOに対して細やかな支援を行う。 ・おおいた共創基金を通じたNPO助成事業を拡充し、ふるさとの創生を図る活動等を推進する。